

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対象) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ワンピシA.九州新センター	階数	地上2F
建設地	福岡県北九州市若松区青葉台西6	構造	S造
用途地域	準工業地域 青葉台サイエンスパーク	平均居住人員	20 人
気候区分		年間使用時間	2,100 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2015年4月14日
敷地面積	6,065 m ²	作成者	屋田
建築面積	2,318 m ²	確認日	2015年4月16日
延床面積	2,642 m ²	確認者	糸瀬



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.6**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 2.9**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 2.9**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.0**

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.7**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 4.2**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 3.3**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.6**

3 設計上の配慮事項		
総合 情報資産管理を行う「事務所を主たる用途とする事業所」 セキュリティを重視。 事務資料室・保管庫は常温(空調なし)。 電算室に温湿度調整管理(20°C±2°C、50%±10%)	Q2 サービス性能 機能性を考慮した室配置 エントランスゲートと事務室の関係および出退管理。 余裕のある階高、天井高の確保。	その他 サイエンスパーク地区計画区域内につき、市の景観協議を受ける。→地区計画区域内に相応しいあり方であるとの評価を受ける。
Q1 室内環境 大半が情報資産のストックスペースにあてられる。 事務室・プレゼン会議室・閲覧室(居室)については一般的な居住環境を設定している。 事務室の窓は管理・監視を目的としたもので、昼光利用等	LR2 資源・マテリアル 解体の容易性 躯体と仕上材の分離 等	Q3 室外環境(敷地内) セキュリティ用のフェンス(3m後退)と手前の緑地帯(芝貼)。 シンプルな外観。
LR1 エネルギー 断熱性の高い屋根(ダブル折板)の採用による熱負荷の低減。	LR3 敷地外環境 周辺への配慮 地区計画区域に相応しい外観	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される